

Body

ボデー取扱説明書

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
- 取扱説明書は必ず車の中に大切に保管してください。
- 本装置を譲られる場合、つぎの使用者のために本取扱説明書を必ず本装置と共にお渡しください。
- トラックシャシの一般的な取扱いについては、シャシメーカー発行の取扱説明書(別冊)をお読みください。

株式会社 / **パブコ**

はじめに

このたびはパブコの「ボデー」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は「ボデー」に関する各部の正しい取扱い方法と点検・手入れ等について説明してあります。

なお、仕様・オプションなどの違いにより内容が一部異なる事がありますので、あらかじめご了承ください。

○取扱説明書は必ずお読みください。

ご使用になる前によくお読みください。また、車体本体（シャシ）について及びリフト等の架装装置がある場合については、それぞれの取扱説明書も併せてお読みください。

○正しい取扱い方について

万一、取扱いを誤ると故障や事故の原因になります。

本書に従った正しい取扱いで、安全作業につとめてください。

本書記載の使用方法及び点検・手入れを守らない場合は、保証期間中であっても、保証の適用外となりますので十分ご注意ください。

○使用目的について

「ボデー」は荷台で荷物を運ぶ目的で作られたものです。この目的以外の使用を禁止します。また、機能維持のため改造変更を禁じます。もし必要が生じた場合には、販売店または弊社迄ご連絡ください。

独自の改造により生じた故障・事故などについては一切責任を負いません。

警告サインについて

本書及び製品本体に貼付した警告ラベルには、次のマークを使用しています。これらのマークのついた項目ならびに警告ラベルは、安全上特に重要なものや参考にして頂きたい情報ですのでよくお読みください。



：死亡事故または重傷に至る切迫した危険



：死亡事故または重傷を負う可能性のある危険



：軽傷及び物的損傷の可能性のある危険

※仕様の変更及びお客様の個別仕様により、本書の内容と一致しない場合がございますのであらかじめご了承ください。

1. 荷の積み方

警告

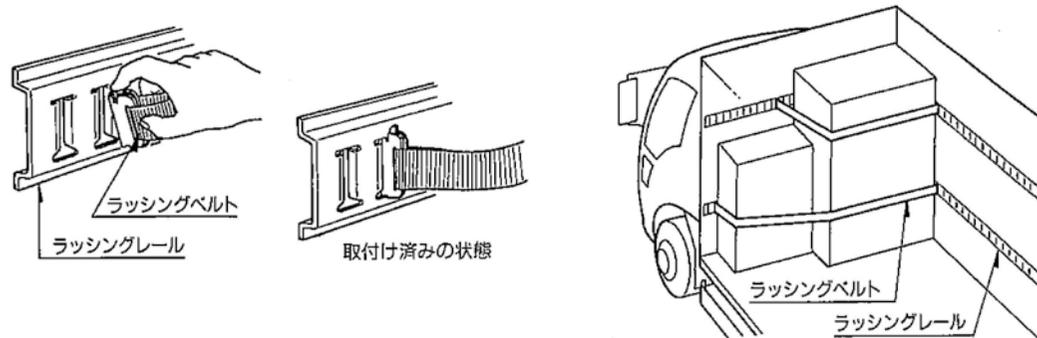
- 最大積載量を守って下さい。過積載は荷台各部に悪影響を与え寿命を縮めます。
- 誤った積み方は、走行状態が不安定となるばかりでなく、集中的に荷重がかかり荷台やフレームを傷めます。

荷の積み方	正 ○	誤 ×
荷物はかたよらないよう前後、左右とも均等に積んでください。		
荷物の下にウマを用いるときは、ウマの位置を均等に配置してください。		
長尺重量物を積むときはウマを使用し、鳥居と荷台後端で支えるのは避けてください。		
荷物が落ちないよう、ロープ掛け、ほろ掛けを確実に行ってください。またほろがバタつかないようにしっかり固定してください。		

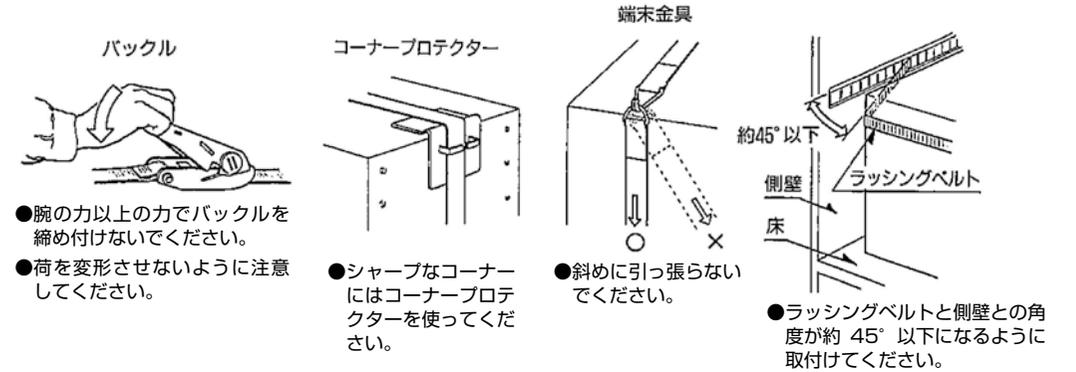
2. 荷の縛り方

荷は走行時、荷崩れおよび荷動きしない様しっかりと縛ってください。荷を縛るには、ラッシンググレールやラッシングベルト並びに床フックやロープフックなどが必要です。

- ラッシングベルトの取付け方

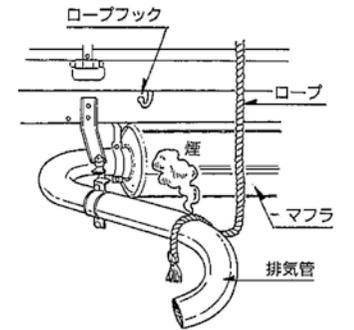


注意 ラッシングベルト取扱い上の注意 許容締め付け力 2,000N (200kgf)



警告 ロープフック取扱上の注意

- シートがけをした場合、ロープフックにロープを確実にかけて、ロープがゆるまないようにしてください。
 - ロープがゆるみ、シートが風になびくと人や物にぶつかり事故を起こすおそれがあります。走行中、垂れないようにしてください。
- (アドバイス)
荷締機などを使用する場合は、強化型のフックが用意されております。荷の種類、形状に応じて用具を選んでください。



警告 火災予防上の注意

- ロープやシートが垂れて、高温の排気管に触れると火災のもとになります。

3. 電気配線関係

警告

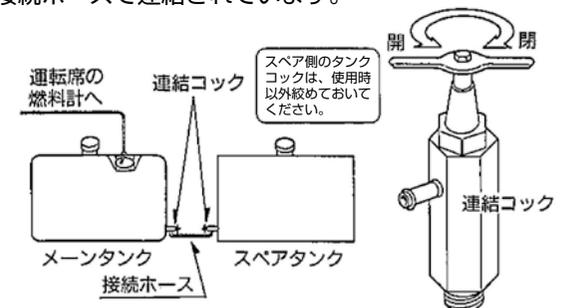
- 電気容量を超過するおそれがありますので、追加配線・灯火器の増設を禁止します。
- 球切れの場合は、ボルト・ワットを確認の上、同容量のものと交換してください。
- ヒューズ切れの場合は、ボルト・アンペアを確認の上、同容量のものと交換してください。ヒューズ切れの原因が不明のとき、あるいはたびたび切れるときは、弊社指定サービス工場での点検をお受けください。規定の容量以外の物を使うと、火災を起こすおそれがあります。

4. 燃料タンク関係

メインタンクと補助タンクは、連結コックを介して接続ホースで連結されています。

警告

- 燃料タンクに付着した燃料はきれいにふきとってください。万一火気が近いと、火災の危険があります。
- 燃料タンク、連結コックおよび接続ホースから燃料がにじみ出ていないか常に点検し、もしにじみがあれば速やかに修理してください。



5. 付属品関係 (部品名称と取扱い注意)

あおり補助装置

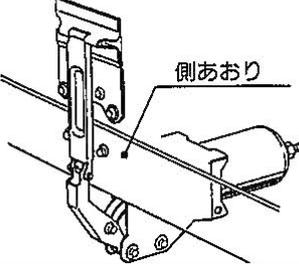
▲ 注意

- 途中位置で停止したあおりに手をつくことは危険ですのでやめてください。
- 本装置が変形、破損および作動不良の場合は、ご使用を中止していただき弊社窓口又は販売店へ速やかに連絡し、修理・交換をしてください。
- 本装置を不用意に分解するとスプリングが飛び出しけがをするおそれがありますので、絶対に分解しないでください。

あおりの開閉操作力を軽減させる装置です。圧縮スプリングを利用し、あおりが水平状態でバランスする様に圧縮スプリングの力を調整してあります。

▲ 注意

- 側あおりは重いので開閉するときは注意してください。
- 側あおりや後あおりを開閉するときは指などははさまないようにしてください。



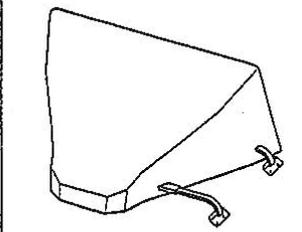
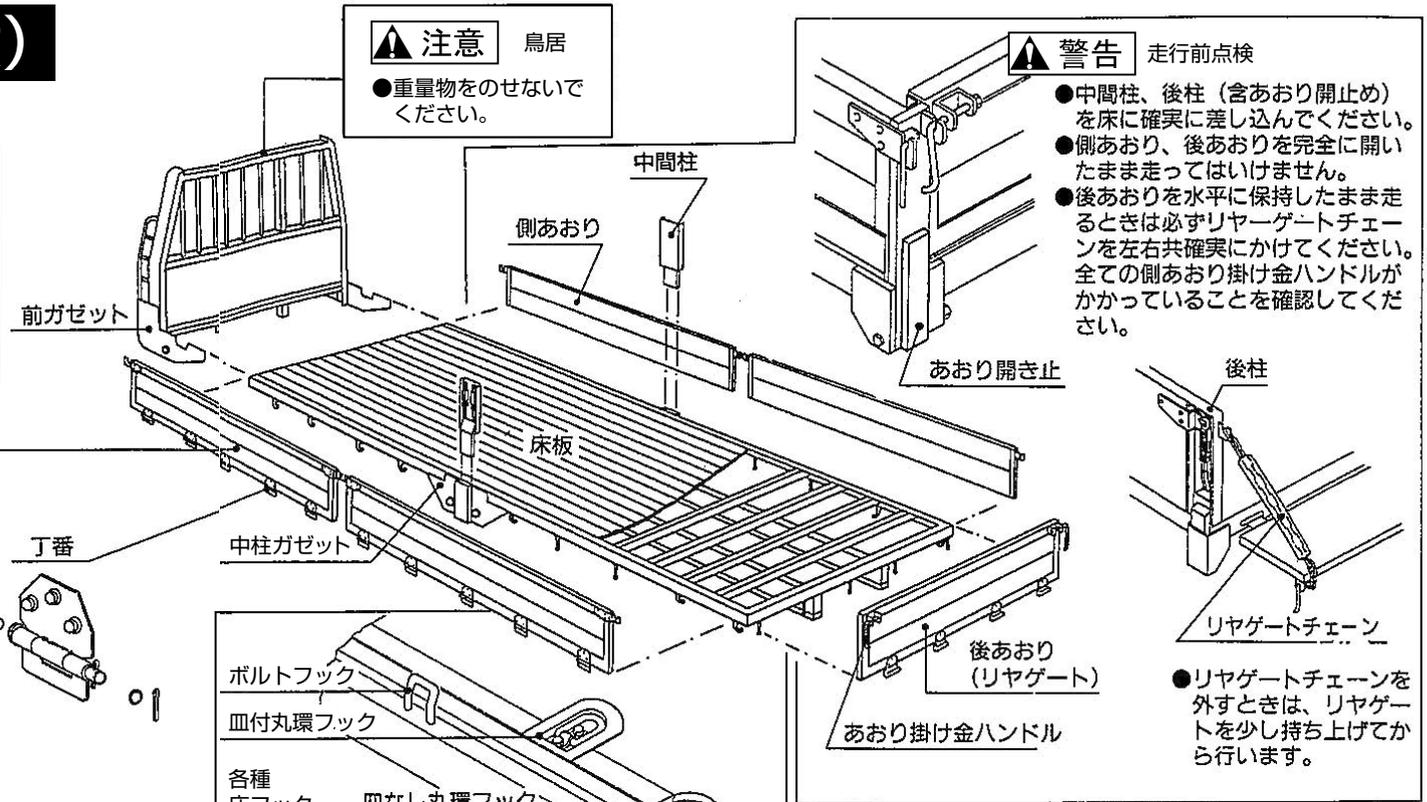
側あおり

▲ 注意

- 側あおりは重いので開閉するときは注意してください。
- 側あおりや後あおりを開閉するときは指などははさまないようにしてください。

▲ 注意 鳥居
●重量物をのせないでください。

▲ 警告 走行前点検
●中間柱、後柱 (含あおり開止め) を床に確実に差し込んでください。
●側あおり、後あおりを完全に開いたまま走ってはけません。
●後あおりを水平に保持したまま走るときは必ずリヤゲートチェーンを左右共確実にかけてください。全ての側あおり掛け金ハンドルがかかっていることを確認してください。



導風板

走行中の風の抵抗をへらし燃料消費を少なくするためのものです。

▲ 警告

- 走行中異音が出たら車を止めて、ボルトなどのゆるみがないか点検してください。

シートデッキ

▲ 警告

- シート以外のものをのせないでください。
- 走行中シートが落下すると、他の車両や人に重大な危害を与えるおそれがありますので、シートを確実にシートデッキ本体と縛ってください。

▲ 警告

- 駐車荷役作業中は必ず輪止めをしてください。



▲ 警告

 工具箱・物入れ

- 走行中は蓋のついているものは必ず蓋をしめ、走行中の振動で物が落ちないようにしてください。
- もし物が落下すると、他の車両や人に重大な危害を加えるおそれがありますので、蓋がない場合は物をしっかりしばってください。

キャブ手すり (梯子)

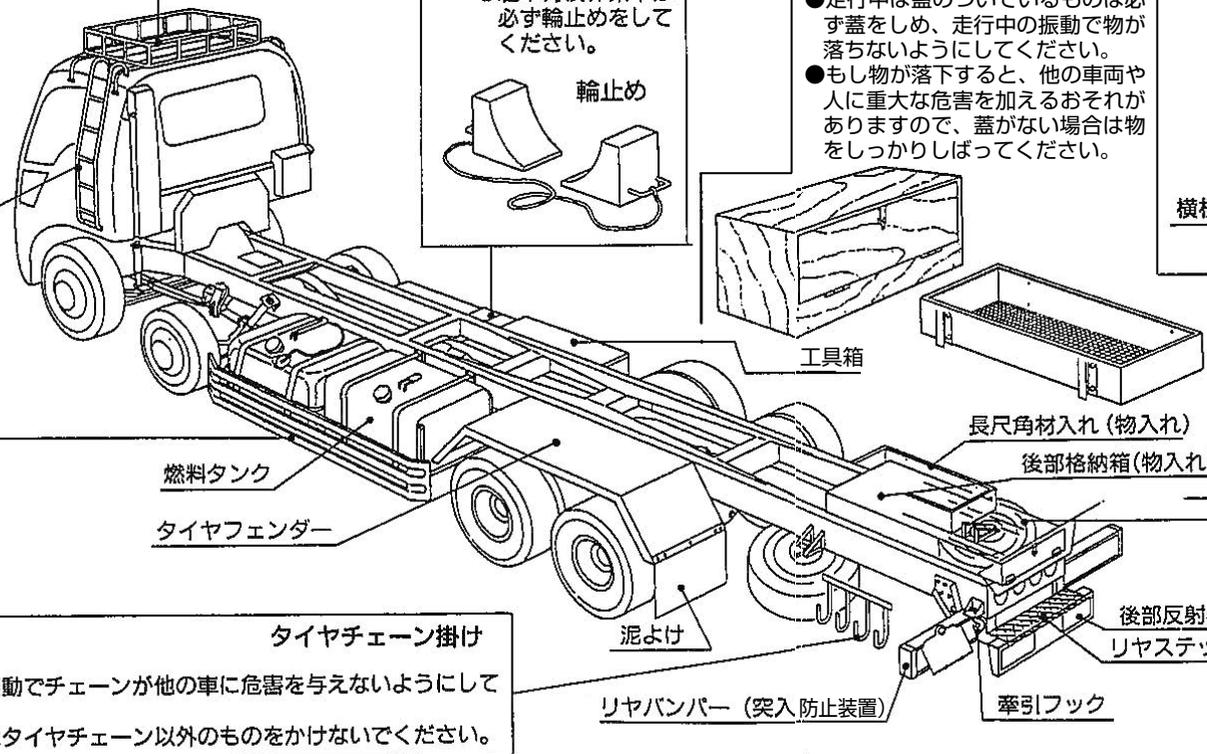
▲ 警告

- すべりによる転落事故に充分気をつけてください。

サイドガード (巻き込み防止装置)

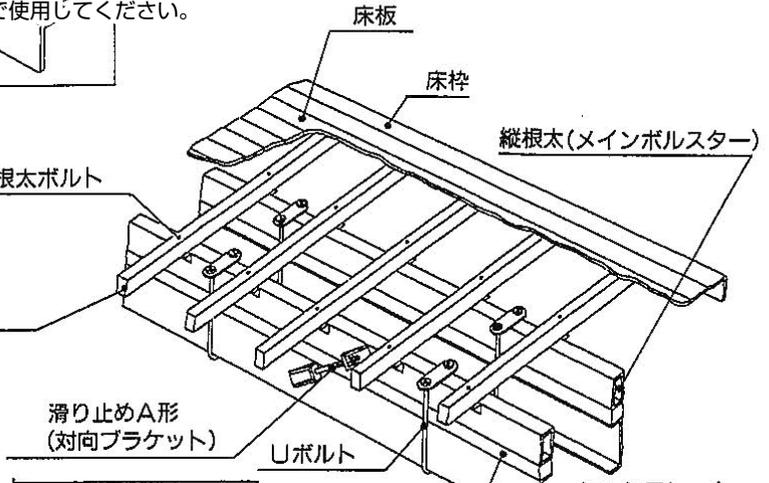
▲ 警告

- 変形や破損の場合はすみやかに修理してください。



▲ 警告

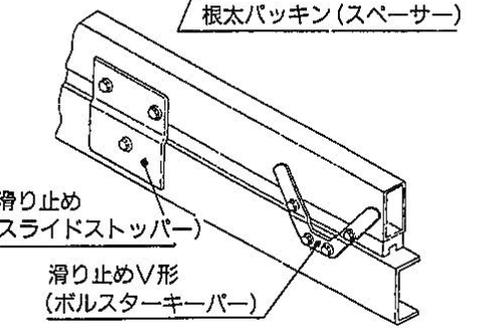
- 走行中の振動でチェーンが他の車に危害を与えないようにしてください。
- フックにはタイヤチェーン以外のものをかけないでください。



スペアタイヤキャリア 備え付けのクランクハンドルを用い 30kgf ~ 40kgf の力で締め上げ、逆回転しないで抜いてください。

▲ 警告

- タイヤが落下した場合、重大事故につながるおそれがありますので、しっかり締め上げてください。



6. 点検・手入れについて

6.1 点検・手入れ時の注意

1. 地面が固い平坦な場所で行ってください。
2. 必ずエンジンを止めて、エンジンキーを抜き取っておきます。
3. パーキングブレーキレバーを確実に引き、チェンジレバーはニュートラル位置にします。
4. 必ず車輪止めをします。
5. 適切な工具を使用します。
6. 電気系統の作業をするときは、必ずバッテリーの(－)端子を外しておきます。
7. 火気の近くでは作業しないでください。
8. 運行直後は、エンジン、排気管、ラジエーターなどが高温になっています。直接触れると火傷をする恐れがあります。
9. 屋根の上には絶対に乗らないでください。
10. 作業後、エンジンルーム内や車のまわりに工具などの置き忘れがないか、確認してください。
11. 作業後、各部が正常であるか確認してください。

6.2 日常（運行前）点検・定期点検

異常は早期に発見し、対処をすることが大切です。そのためにも日常（運行前）点検、定期点検は重要ですので、必ず実施してください。

	点検部位・内容	点検整備期間		
		日常点検	1か月	6か月
ボデー下廻り	タンク、サイドガード、リヤバンパー、タイヤキャリアー、Uボルトの取付部を目視または点検ハンマーなどにて緩み、ガタなきことの確認	○		
	スペアタイヤ装置状態の点検	○		
	火災防止の為にマフラー廻りの点検	○		
	Uボルト、滑り止めボルトなどの緩みを点検し増し締め		○	
	縦根太、横根太との組合せ根太ボルトの増し締め		○	
	床下およびフレーム廻りの清掃		○	
	サイドガードの取付け部ボルトの点検と増し締め			○
	リヤバンパーの取付け部ボルトの増し締めと溶接亀裂の点検			○
	リヤフェンダの取付け部ボルトの点検と増し締め			○
	燃料タンク取付け部ボルトの増し締めと油漏れの点検			○
	工具箱取付け部ボルトの点検と増し締め	○		
	スペアタイヤキャリアー取付け部の亀裂点検と増し締め	○		
	各種電装品の取付け部ボルトの点検と増し締め			○
	牽引フックの取付け部ボルトの点検と増し締めおよび溶接亀裂の点検			○
ボデー	ロープフック、床フック、ラッシングレールなどの緩み、亀裂などの点検	○		
	灯火器の点灯点検	○		
	床枠の取付け部床枠ボルトの増し締め		○	
	鳥居と根太の取り付けボルトの増し締め		○	
	あおり掛金、ハンドル、丁番のボルト及びピンなどの点検			○
鳥居の変形、床枠前・後部及び中間柱部カゼット、亀裂、発生の点検			○	
キャブ内外	導風板、シートデッキ、キャブ手すりの取付部を目視または点検ハンマーなどにて緩み、ガタなきことの確認	○		
	非常用器具の搭載確認	○		
その他	特別仕様品として取り付けられた各部の点検			(随時)

消耗部品

下記部品は使用頻度、経年劣化等により、消耗、劣化する部品です。

点検時に摩耗や損傷状態を確認し、早めに交換してください。

各部締結ピン・シート類・泥除けゴム・各部のガスケット類・オイル・グリース・電球・ヒューズ類

6.3 法定点検

車両の点検整備は法律により義務付けられています。下記に本取扱説明書に関する点検箇所を示します。その他、車両側の点検箇所もありますので合わせて実施してください。

また、点検の結果、異常が見つかった場合、必ず整備を実施して下さい。

点検箇所	点検項目
ボデーマウント ・Uボルト ・滑り止め ・対向ブラケット	変形、損傷、取付部の緩み、がた
サイドガード	変形、損傷、取付部の緩み、がた
リヤフェンダー	変形、損傷、取付部の緩み、がた
リヤバンパ	変形、損傷、取付部の緩み、がた
灯火器類	点灯、変形、損傷、取付部の緩み、がた
ツールボックス (車両総重量8トン以上)	変形、損傷、取付部の緩み、がた
タイヤキャリア (車両総重量8トン以上)	変形、損傷、取付部の緩み、がた
スペアタイヤ (車両総重量8トン以上)	取付装置の作動、取付状態、チェーンの異常、傾き、取付状態
燃料タンク	漏れ、変形、損傷、取付部の緩み、がた

7. 架装物の安全点検制度

定期的な点検と整備で事故・故障を未然に防止

スペアタイヤ、タイヤキャリアおよびツールボックスについて、3か月ごとの点検が国土交通省から義務付けとなりました。

- 本点検制度は、車体工業会 会員が製造するトラックの架装物を、長期にわたり「安心・安全」にお使いいただくために、会員が指定するサービス工場等にて定期的な点検・整備の実施を推奨するものです。
- 点検の結果、異常が見つかった場合は、そのままにせず必ず整備の実施をお願いします。
- 点検・整備を実施したら、車体工業会が発行する「トラック普通荷台／ドライバン／冷凍・冷パン／ウイングバン」点検ノートの「点検整備実施記録簿」に記録してください。(車載)
- 日常の使用に関しましては、本書内に記載されている「1」～「6」をご覧ください。

(荷台点検表)

	点検箇所	点検項目	点検時期
下廻り部	ツールボックス(各種物入れ)(車両総重量8トン未満)	変形、損傷、取付部の緩み、がた	12月ごと
	タイヤキャリア(車両総重量8トン未満)	変形、損傷、取付部の緩み、がた	12月ごと
	スペアタイヤ(車両総重量8トン未満)	作動、取付状態	12月ごと
	タイヤチェーン掛け	変形、損傷、取付部の緩み、がた	12月ごと
	リヤステップ	変形、損傷、取付部の緩み、がた	12月ごと
ボデー部	アオリ丁番	変形、損傷、取付部の緩み、がた	12月ごと
	アオリ開閉補助装置	変形、損傷、取付部の緩み、がた	12月ごと
	アオリ掛金	変形、損傷、取付部の緩み、がた	12月ごと

(法定点検項目)

※車検時に点検する場合は、車両側で実施してください。

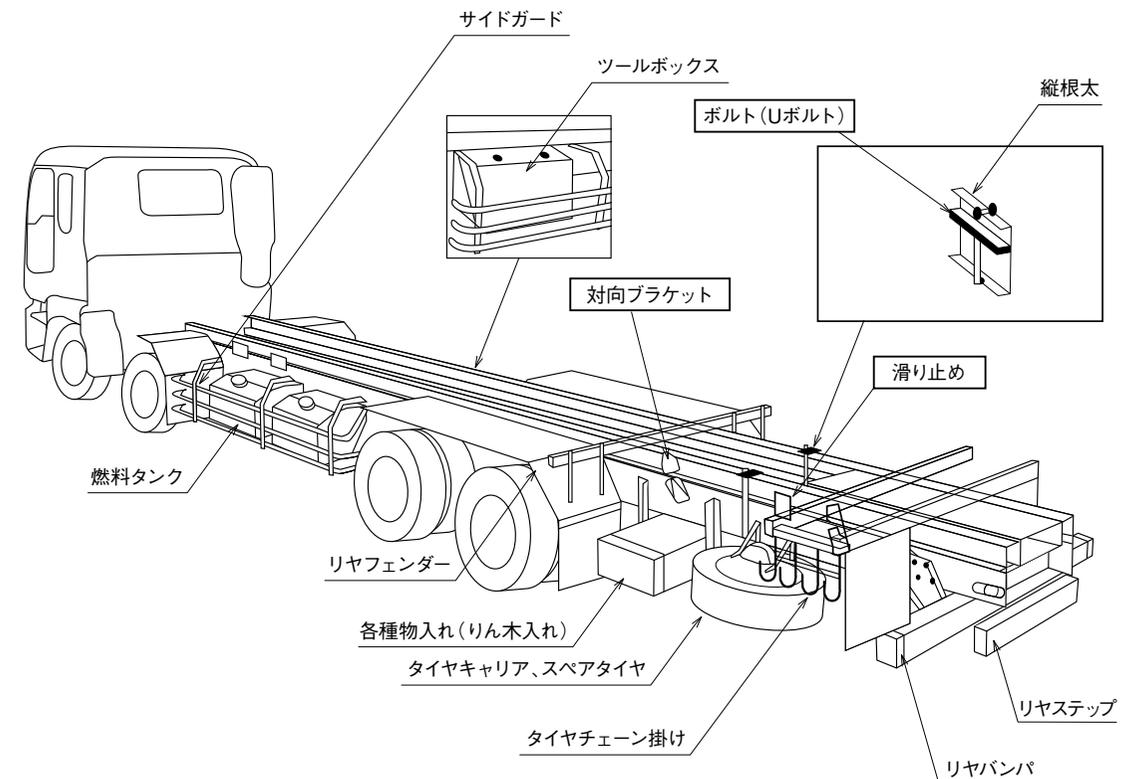
	点検箇所	点検項目	点検時期
下廻り部	ツールボックス(各種物入れ)(車両総重量8トン以上)	変形、損傷、取付部の緩み、がた	—
	タイヤキャリア(車両総重量8トン以上)	変形、損傷、取付部の緩み、がた	—
	スペアタイヤ(車両総重量8トン以上)	作動、取付状態	—
	サイドガード	変形、損傷、取付部の緩み、がた	—
	燃料タンク	漏れ、変形、損傷、取付部の緩み、がた	—
	リヤフェンダ	変形、損傷、取付部の緩み、がた	—
	リヤバンパ	変形、損傷、取付部の緩み、がた	—
結合部	ボルト(Uボルト)	変形、損傷、取付部の緩み、がた	—
	滑り止め	変形、損傷、取付部の緩み、がた	—
	対向ブラケット	変形、損傷、取付部の緩み、がた	—

●点検箇所と名称

【下廻り部】

【結合部】

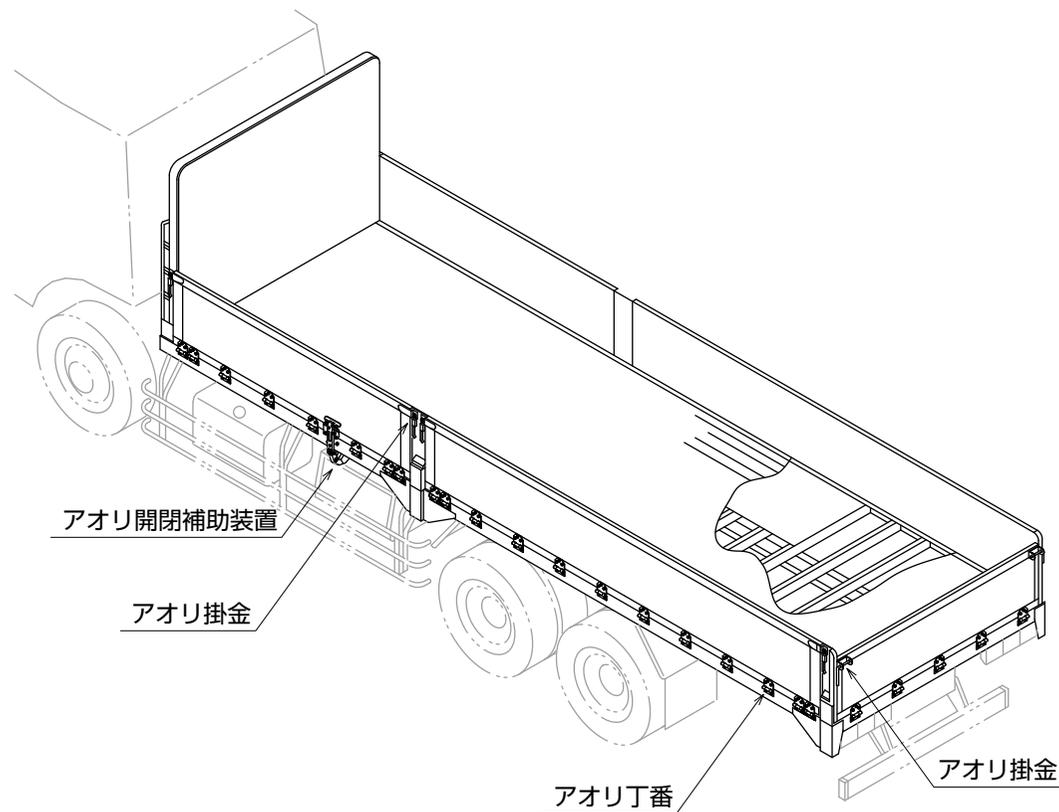
枠内は、結合部(シャシーと架装物の連結部)を示します。



※この図は、シャシーからボデー部を取除いた状態を示します。

●点検箇所と名称

【ボデー部】
トラック普通荷台



●点検要領

【下廻り部】

点検箇所	サイドガード
点検項目	変形、損傷、取付部の緩み、がた
点検方法	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検

点検の実施方法

- サイドガード本体やステーに変形、曲がり等の損傷がないかを点検する。
- 取付けボルトやナット、溶接に、緩みやがた、損傷及び腐食がないかを点検する。

点検箇所	燃料タンク
点検項目	漏れ、変形、損傷、取付部の緩み、がた
点検方法	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検

点検の実施方法

- 燃料漏れ、タンク、バンド、ステーなどに、変形等の損傷がないかを点検する。
- 取付けボルトやナット、溶接に、緩みやがた、損傷及び腐食がないかを点検する。

点検箇所	リヤフェンダ
点検項目	変形、損傷、取付部の緩み、がた
点検方法	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検

点検の実施方法

- フェンダ本体やステーなどに、変形、曲がり等の損傷がないかを点検する。
- 取付けボルトやナット、溶接に、緩みやがた、損傷がないかを点検する。

●点検要領

【下廻り部】

点検箇所	ツールボックス(各種物入れ)
点検項目	点検方法
変形、損傷、取付部の緩み、がた	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ツールボックス】</p> <p>ボルト、ナットの緩み ステーパー変形の有無 ツールボックス変形の有無</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【りん木入れ】</p> <p>ボルト、ナットの緩み りん木入れ変形の有無 ステーパー変形の有無</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>点検の実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ■本体やステーに変形等の損傷がないかを点検する。 ■取付けボルトやナット、溶接に、緩みやがた、損傷がないかを点検する。 </div>	

点検箇所	タイヤキャリア
点検項目	点検方法
変形、損傷、取付部の緩み、がた	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検
<p>タイヤキャリア取付部 ボルト、ナットの緩み スベアタイヤ 亀裂、損傷、摩耗の有無 タイヤキャリア ボルト、ナットの緩み、変形、がた、傷の有無 ブラケット 変形の有無</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>点検の実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スベアタイヤを取り外し、次の点検を行います。 ■タイヤキャリアの取付部に緩みがないかをスパナなどにより点検します。また、損傷がないかを目視などにより点検します。 ■タイヤキャリアに緩みがないかをスパナなどにより点検します。また、がたがないかを手で揺るなどして点検します。さらに、損傷がないかを目視などにより点検します。 ■スベアタイヤのディスク・ホイールについて、ボルト穴や飾り穴の周り及び溶接部に亀裂及び損傷がないかを目視などにより点検します。また、タイヤキャリアとディスク・ホイール合わせ面に摩耗や損傷がないかを目視などにより点検します。 </div>	

点検箇所	スベアタイヤ
点検項目	点検方法
作動、取付状態	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検
<p>吊上げチェーン ハンドルの作動、ねじれ、引っかかりの有無 スベアタイヤ 傾き、緩みの有無</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>点検の実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スベアタイヤを取り付ける際に次の点検を行います。 ■タイヤキャリアのハンドルが円滑に回ること及び吊上げチェーンにねじれや引っかかりがないことを確認し、規定トルクで締め付けます。 ■スベアタイヤを取り付けた後、スベアタイヤに異常な傾きがないかを目視などにより点検します。また、スベアタイヤの取付けに緩みがないかをスベアタイヤを強く押すなどして点検します。 </div>	

●点検要領

【下廻り部】

点検箇所	タイヤチェーン掛け
点検項目	点検方法
変形、損傷、取付部の緩み、がた	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検
<p>ボルト、ナットの緩み タイヤチェーン掛け 変形の有無</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>点検の実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ■チェーンフックやステーに変形等の損傷がないかを点検する。 ■取付けボルトやナット、溶接に、緩みやがた、損傷がないかを点検する。 </div>	

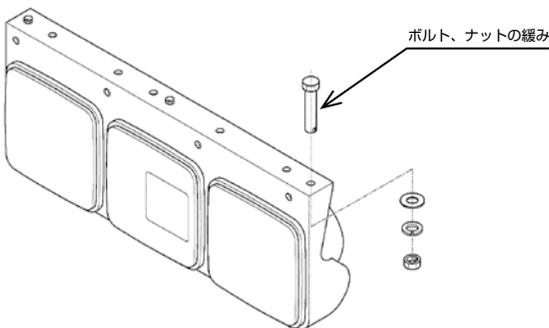
点検箇所	リヤバンパ
点検項目	点検方法
変形、損傷、取付部の緩み、がた	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検
<p>ステー 変形の有無 ボルト、ナットの緩み リヤバンパ本体 変形の有無</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>点検の実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ■リヤバンパ本体やステーに変形等の損傷がないかを点検する。 ■取付けボルトやナット、溶接に、緩みやがた、損傷がないかを点検する。 </div>	

点検箇所	リヤステップ
点検項目	点検方法
変形、損傷、取付部の緩み、がた	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検
<p>ボルト、ナットの緩み リヤステップ 変形の有無</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>点検の実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ■リヤステップ本体やステーに変形等の損傷がないかを点検する。 ■取付けボルトやナット、溶接に、緩みやがた、損傷がないかを点検する。 </div>	

●点検要領

【下廻り部】

点検箇所	リヤ灯火器
点検項目	変形、損傷、取付部の緩み、がた
点検方法	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検



ボルト、ナットの緩み

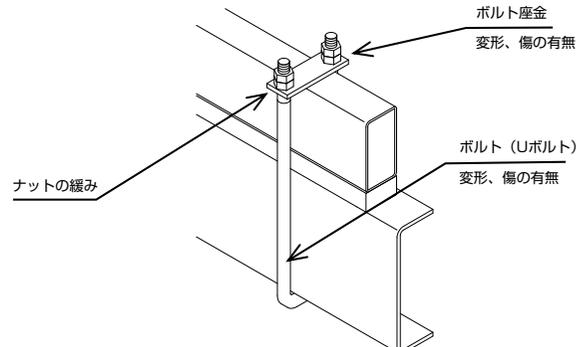
点検の実施方法

- 灯火器本体やステーに、変形等の損傷がないかを点検する。
- 取付けボルトやナット、溶接に、緩みやがた、損傷がないかを点検する。

●点検要領

【結合部】

点検箇所	ボルト（Uボルト）
点検項目	変形、損傷、取付部の緩み、がた
点検方法	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検



ボルト座金
変形、傷の有無

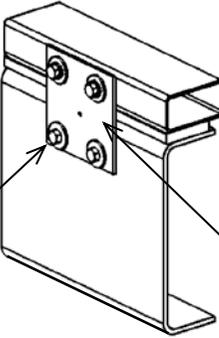
ボルト（Uボルト）
変形、傷の有無

ナットの緩み

点検の実施方法

- ボルト本体やボルト座金に変形等の損傷がないかを点検する。
- 取付けナットに、緩みやがた、がないかを点検する。

点検箇所	滑り止め
点検項目	変形、損傷、取付部の緩み、がた
点検方法	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検



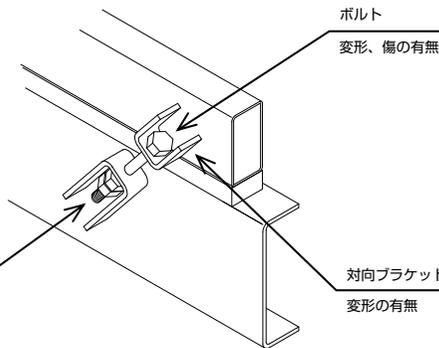
ボルト、ナットの緩み

滑り止め
変形の有無

点検の実施方法

- 滑り止めに、変形等の損傷がないかを点検する。
- 取付けボルトやナット、溶接に、緩みやがた、損傷がないかを点検する。

点検箇所	対向ブラケット
点検項目	変形、損傷、取付部の緩み、がた
点検方法	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検



ボルト
変形、傷の有無

ナットの緩み

対向ブラケット
変形の有無

点検の実施方法

- 対向ブラケットに、変形等の損傷がないかを点検する。
- 取付けボルトやナット、溶接に、緩みやがた、損傷がないかを点検する。

●点検要領

【ボデー部】

点検箇所	アオリ丁番
点検項目	変形、損傷、取付部の緩み、がた
点検方法	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検

点検の実施方法

- アオリ丁番本体及びピンに、変形、曲がり等の損傷がないかを点検する。
- 取付けボルトやナットに、緩みやがた、損傷がないかを点検する。

点検箇所	アオリ開閉補助装置
点検項目	変形、損傷、取付部の緩み、がた
点検方法	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検

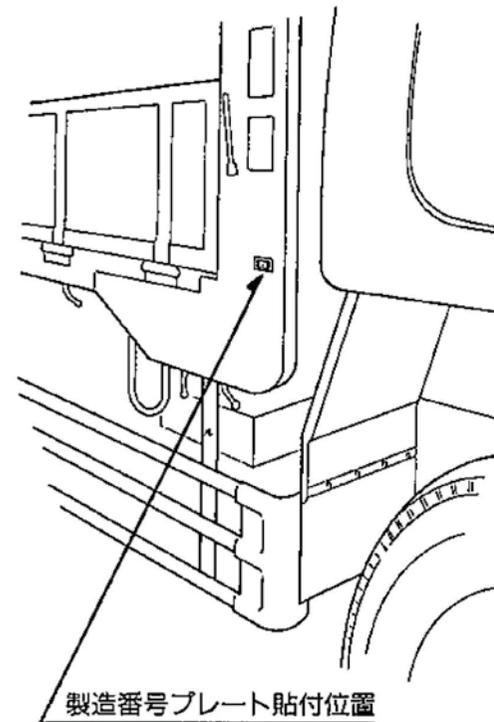
点検の実施方法

- アームやピンに、変形、曲がり等の損傷がないかを点検する。
- 取付けボルトやナットに、緩みやがた、損傷がないかを点検する。

点検箇所	アオリ掛金
点検項目	変形、損傷、取付部の緩み、がた
点検方法	目視やスパナ（点検ハンマー）などによる点検

点検の実施方法

- 掛金に、変形、曲がり等の損傷がないかを点検する。
- 取付けボルトやナットに、緩みやがた、損傷がないかを点検する。



製造番号プレート

BODY No.
株式会社 パブコ

BODY No.
株式会社 パブコ 近畿工場

修理および部品をご用命のときは、こちらの番号をお知らせください。

(製造番号表示例)

21-3K1234

22-4AK21

何でもご相談は・・・

製造番号をお確かめのうえ、最寄りの販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。

不具合に関する詳しい情報をお知らせください。

株式会社パブコ お問い合わせ窓口

相模サービスセンター

住所 〒243-0402 神奈川県海老名市柏ヶ谷456番地

TEL: 046(233)3191 FAX: 046(235)7964

近畿サービスセンター

住所 〒639-1121 奈良県大和郡山市杉町250番地

TEL: 0743(84)7555 FAX: 0743(59)5112